

## テーマ： 2.27 以降の教育政策と学校：教育法制と現場からの検証

第 10 期の課題研究は 3 年間の統一テーマを「With/After コロナ時代の教育と教育政策（教育統治）」として、研究推進活動を進めていきます。戦後公教育制度はさまざまな面で大きな揺らぎを見せています。近年、打ち出された Society5.0 構想は公教育のかたちを大きく変えようとするものであり、昨年からのコロナ危機対策のための教育政策と相乗する状況も生まれている。こうした事態に焦点を当て、これらを推進する教育政策の論理と検討過程、そして教育統治の構造を分析したい。

まず、3 月公開研究会では、2.27 以降のコロナ危機対応の教育政策について検証を行うこととし、教育法制の視点からその問題点を高橋哲氏に、また教師の立場から学校の状況を石垣雅也氏にお話しいただきます。公開研究会ですので、多くの方にご参加いただいてこの間の事態をどう捉えるか、議論したいと思います。

### ■講演者

- 高橋 哲 氏（埼玉大学）  
「コロナ危機下の教育政策と法的問題」
- 石垣 雅也 氏（滋賀県公立小学校教員）  
「コロナ危機下の学校はどう動いたか？」

### ■日時

- 2021 年 3 月 21 日(日) 10:00-12:20

### ■開催方法

- オンラインで開催します。
  - ・会員のみなさまには後日、Zoom の案内をお送りします。
  - ・公開研究会です。会員のみなさまにはお知り合い等にご案内くださるようお願いいたします。なお会員以外の方の参加方法（事前申込等）については、改めてご案内します。

### ■問合せ先

- 日本教育政策学会事務局 jasep10th※gmail.com（←※を@にして下さい）